

テーマ別パスファインダー



書評の書き方



✦ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2020年8月4日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングコモンズ るくす | LSチーム

I. イントロダクション

■ 書評とは？

書評とは、ある本の内容を批評・評価した文章です。学術雑誌に掲載される書評論文だけでなく、個人のブログやネット記事など、今や様々な媒体で、様々な人があらゆる本の書評を書いています。自分が探している文献の書評を読むと、その文献の内容がある程度把握できることもあります。

書評の書き方について一定のルールはなく、書評の書き方に特化したガイドブックもそれほど多くありません。しかし授業の課題などで書評レポートが課されることはよくあります。また、個人的にブログなどの媒体で書評を書くことも、その本の魅力を他人に伝えることができ、更に自分にとっても読んだ本の内容の備忘録となるなど、メリットが多々あります。

ここでは、主に授業のレポート課題や、大学院生が書く書評論文など、アカデミックな書評の書き方について説明しますが、個人的な書評執筆を考えている方なども、ぜひ参考にしてください。

II. 書評を書く前の準備

■ 本を読み、メモをとる

ページごと、あるいは節ごとに要約するなど、できるだけ細かくメモをとります。個人的に特に興味深いと思った箇所や、疑問に感じた箇所などもメモをとりましょう。また、本全体の大まかな主張を整理します。

■ その本に関連するテーマの先行研究の調査

その本の主張が、そのテーマについての先行研究で既に言われている見解とどう違うのか、確認します。大抵の本は、序章で先行研究について触れていますので、まずはその内容を整理します。そして、可能であれば、主要な先行研究を実際に見てみましょう。

III. 書評を書く

■ 書評に書くべき項目

①本の基礎情報

- ・著者、タイトル、発行年・発行地。併せて、著者の経歴や過去の研究についても出来れば書く。
- ・その本がどういう本なのか。

(例えば研究書なのか、あるいは啓蒙書なのか。共著で、複数の研究者の論文をまとめた本なのか、など。)

②本のテーマに関連する先行研究

- ・これまで、このテーマでどのような研究がされてきたのか。
- ・著者は先行研究をどう評価し、何が先行研究において不十分な点だと考えているのか。

③本の構成

- ・本では主に何を明らかにしようとしているのか。また、どのような結論がされているのか。

- ・ 著者はどのような資料を用いて議論しているのか。
- ・ 各章の内容の簡単な説明。

④本への評価

- ・ どれほど鋭い指摘、議論をしているのか。
- ・ 先行研究にはない新しい見解は提示されているのか。
- ・ 議論の展開に説得力はあるのか。
- ・ 解明されなかった課題はあるのか。

特に、授業での課題として書く場合、字数がかなり限られる事もあると思いますが、できるだけこれら上記の項目について書くようにしましょう。

IV. 参考資料

本パスファインダー作成の際に参考にした資料を紹介します。皆さんが書評を書く際にもきっと役立つので、ぜひ参考にしてください。

■ 豊崎由美 (2011年)『ニッポンの書評』光文社新書

個人的にブログなどで書評を書きたいと思っている方にとって参考になる本です。主にネット上の書評文や新聞書評などを対象に、魅力的な書評の書き方を解説しています。ブログなどで書評を投稿するときに注意すべき点についても述べています。【外国図-4階新書 019||182】

■ 西川真理子ほか著 (2017年)『アカデミック・ライティングの基礎：資料を活用して論理的文章を書く』晃洋書房

初めてレポートを書く人向けに、アカデミックな文章の書き方を説明しています。「第13回：書評を書こう」・「第14回：「おすすめの一冊」をPOPで紹介しよう」では、短いですが、書評文を書くときに意識すべきポイントについても述べています。【外国図-4階開架 816||252】

■ 九州大学附属図書館「九大生の知らない書評の世界：書評の世界へようこそ！」

https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/book_reveiw (2020年7月27日アクセス確認)

ネット上でも、書評の書き方について解説しているページを見つけることができます。九州大学附属図書館のHPでは、書評の魅力や書評の読み方・書き方について解説しています。

V. ネットで読むことのできる書評

最後に、書評を読むことのできるインターネットサイトをいくつかご紹介します。特に、個人的にブログなどで書評を書きたいと思っている方は、ぜひ参考にしてみてください。(なお、紹介するサイトは全て2020年7月27日にアクセス確認済です。)

■ 阪大生協「ブックコレクション」 https://www.osaka-univ.coop/career/02_4.html

阪大では、「ブックコレクション」と呼ばれる企画が生協主催のもとで毎月行われています。教員と学生団体がそれぞれおすすめする5冊の書評を書き、その本の売り上げで勝敗を決めます。教員も学生側も、一人でも多くの人に本を買ってもらえるよう、熱い書評を書いています。上記のサイトでは、過去の対決の書評を読むことができます。

2020年度はコロナウイルスの影響で当分の間行われたい予定ですが、書評を通じて本の魅力を上手にアピールするためのヒントが見つけれられる企画ですので、再開したらぜひチェックしてください。

■ 「好書好日」 <https://book.asahi.com/>

朝日新聞社が運営しているサイトです。芸能人から研究者、プロのライターまで、様々な人の書評を読むことができます。

■ 「ブックバン」 <https://www.bookbang.jp/>

様々な新聞社・出版社の書評をまとめて検索し、読むことができます。非常に様々なジャンルの本の書評を読むことができ、学術書の書評も数多くあります。

✧ [パスファインダーの凡例]

■ 図書の情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)

著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

■ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

■ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

■ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LSデスクまでお尋ねください。